

刑事施設内の心理的アプローチについて学ぶ



地域生活のしづらさを抱え犯罪行為に至った際、最後の砦となっているのが刑務所です。今年の研修は、治療共同体（Therapeutic Community）のグループ力を用いた心理的手法に関して、当事者、援助者の関係性を越えた実践から学びを深めます。第1部では、同志社大学心理学部の毛利真弓氏にご講演いただきます。第2部では、毛利氏と更生支援委員会役員によるシンポジウムを通じて、刑事司法ソーシャルワークの実際について学びます。

【日時】2023年1月8日（日）
13時30分～16時
（受付13時15分～）

【場所】Zoom 開催
（Webカメラとマイクをご用意ください）
【申込締切】2023年1月4日（先着60名）



講師紹介 毛利 真弓 氏

同志社大学心理学部心理学科准教授
臨床心理士、公認心理師、博士（人間科学）

【主な経歴、社会活動】

大阪大学大学院博士後期課程単位取得満期退学。広島国際大学心理臨床センター特任助教、（株）大林組PFI事業部/島根あさひ社会復帰促進センター、名古屋少年鑑別所法務技官兼法務教官。児童自立支援施設広島学園性問題行動プログラムや、山口刑務所性犯罪再犯防止指導のスーパーバイザーとしても活動。

【現在の研究テーマ】

- ・性暴力に対する治療教育
- ・共同体と関係性を基盤とする犯罪行動変化への介入（特に刑務所内の治療共同体）
- ・犯罪行動を手放す（離脱）プロセス

第1部 講演

治療共同体の実践から学ぶ —心理的アプローチの方策—

講師 毛利 真弓 氏

（同志社大学心理学部心理学科 准教授）

第2部 シンポジウム

～心理的アプローチ×更生支援 福祉専門職の更生支援のこれから～（仮題）

毛利 真弓 氏

（同志社大学心理学部心理学科 准教授）

佐藤 寛士 氏（更生支援委員会委員長）

岡村 恵子 氏（更生支援委員会副委員長）

- 対象者 更生保護分野に関心、興味がある社会福祉士、精神保健福祉士等
または、更生支援に関心のある方（一般の参加者も歓迎です）
※本研修により、日本社会福祉士会 生涯研修制度の研修単位が取得可能です。
- 参加費 社会福祉士会会員 ¥2,000（他県会員の方も同額）、非会員 ¥3,000
- 申込み 右のQRコードより google フォームにてお申し込みください。

<https://forms.gle/qrhcnaSarQJpi7GG6>

※QRコードから申込ができない場合には、①メールアドレス②氏名
③フリガナ④電話番号⑤社会福祉士会の加入状況の区別⑥会員番号をご記入の上、
件名に「フォレンジック・ソーシャルワーク研修申込」と記載して
メールアドレス entry@hacsw.or.jp にお申し込みください。
追って、参加費のお振込み方法などをお知らせいたします。

■問合先 兵庫県社会福祉士会 事務局 078-265-1330

